

小中学校の学校給食費無償化を求める請願

紹介議員

千葉 伸行
兼平 孝信
神部 伸也
中村 亨

佐藤 尚弘
後藤 百合子
縄手 豊子

請願第 9 号



令和6年9月10日

小中学校の学校給食費無償化を求める請願

盛岡市議会議長
遠藤 政幸 様

岩手県盛岡市津志田 26-30-1
盛岡医療生活協同組合組織部内

学校給食費の無償化を求める岩手の会

共同代表 石橋乙秀

田村茂

比屋根哲

山屋理恵



【請願主旨】

小中学校の学校給食について、盛岡市では小中学校における完全給食の実施の方向性を打ち出し（平成31年4月「盛岡市学校給食基本方針」）、「全員に同じ給食が提供される方式」の実現に向けて第二次学校給食施設整備計画が策定され、新たな給食センターの整備方針が決められました。また、政府による給食費無償化に向けた実態調査の実施、全国の自治体に広がる学校給食無償化の動きにも呼応する形で、令和5年10月の盛岡市議会定例会では「小中学校の完全給食の実施と学校給食の無償化を求める請願」が採択され、すべての小中学校の完全給食の早期実現と、学校給食をめぐる課題を払拭し早急に小中学校の給食費の無償化を実現する方針が市議会で合意されました。

引き続き物価高騰により市民の経済的負担は重く、生活は厳しさを増しています。子どもの貧困率（2人世帯では可処分所得が約180万円以下、3人世帯では約220万円以下の子どもの割合）は11.5%（2022年）にのぼり、特にひとり親世帯の相対的貧困率は44.5%にもなっています。そうした中、学校給食費は年間5万～6万円と保護者が学校に収めるお金の中で最も高く、子育て世帯の家計を大きく圧迫しています。子育て世代から「子どもが2人、3人いると給食費の負担はとても重い」「中学校の給食をすべての学校で実施してほしい」「中学校の完全給食実施を待つのではなく、小学校をまずは無償化してほしい」という声が上がっています。

岩手県内では、宮古市、陸前高田市をはじめ11の自治体が学校給食費の無償化に踏みきっています。盛岡市においても、子ども達が給食費の心配なく平等に給食を食べられ、健康で安心して学校に通えるようにするため、給食費の無償化を実現することが急務と考え、下記について請願します。

【請願事項】

1. 小学校については、給食無償化のスケジュールを明確にし、実現することを求めます。
2. 中学校については、完全給食の実施と給食無償化のスケジュールを明確にし、実現することを求めます。